

小説世界



ハ木山は毎年5年後には必ず

求められる「地域でのささえあい・助け合い」を

二〇一九年十月八日小田井公士著

75歳以上の人口は、平成22年は9%に過ぎませんでした。しかし今から5年後の平成32年は、一気に

今から5年後の平成32年は65歳以上の高齢者は団塊世代が加わり急増し、地域の半数に近づく見通します。  
平成22年25%が、今から5年後の平成32年は4%になり、市内最高齢者の地域になります。

**75歳以上は  
2倍強に**

かし今から5年後の平成32年は、一気に

西 麻雀を楽しむ頭の体操  
の皆さん 松コミ

子供に頼らず  
地域で支えあおう

八木山地域は、家  
族構成が典型的な世  
代間別居型となつて  
います。

このため、地域で  
支え合い、助け合う  
活動など、福祉の更  
なる充実が必要にな  
ります。

※市総務部統計  
平成22年6月作成

「家」は、地域の生活、福祉の困りごとが起きたら、必ず「やまぐちあいの家」に行こうと思つていただけの駆け込み寺を目指します。

「家」には民生・児童委員などを福祉關係者や地域ボランティアが常駐しております。

**当番が常駐しています**

午前10時から午後3時まで、当番係が常駐しています。土・日曜日・祭日は当番はお休みです。

**地域の福祉事務所機能としての会議、打ち合わせなどにご利用ください。**

**地域の生活支援センターとしてお待ちしています**

警察と連携して行方不明者の捜索隊の拠点となるようになります。

生活支援活動のセンターとして、皆さまのご利用をお待ちしております。

「やまぐちあいの家」運営委員長 松井義孝

当番が常駐  
しています

**地域の福祉事務所**  
機能としての会議、  
打ち合わせなどに  
ご利用ください。

**地域の生活支援**  
**センターとして**  
**お待ちしています**

警察と連携して行  
方不明者の捜索隊の  
拠点となるようにし  
てていきます。

生活支援活動のサ  
ンタとして、皆さん  
のご利用をお待ち  
しております。

「やさしいおじいの家」運  
営委員長 松井義孝

いようにはどうすればいい議する運営委員の皆さん



ささえあいの家を利用して

困りごと相談所  
「駆け込み寺」を  
めざします

「家」を会議などに  
ご利用ください



# 「寺子屋」の歴史

毎週火曜日3時から  
児童を対象に

小学生がランドセルを揺らしてささえあいの家にまつしへぐらにかけてきました。この日からささえあいの家で「寺子屋」が始まりたのです。

宿題や勉強をします

「ひみだいじゆうじゅく」  
学校とは違った雰囲  
気の中で、おしゃべり、  
おしゃべりたちがお世  
話しながら勉強をし  
ています。

地域の人されあ

世話係の得意技が飛び出しますかもしれません。地域の人々に触れることは多様な「人」とのモデルに接することでしょう。新子どもたちの新たな面が発見できるかも知れません。ババは、地域の教育力とし

夏休みもやります。

1年生から6年生まで力を合わせ登った山頂で、おにぎり(ぼはる児童たち(平成27年5月14日八木山登山から))

